

# 平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ビリングシステム株式会社  
 コード番号 3623 URL <http://www.billingsystem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江田 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 住原 智彦

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	933	2.1	87	33.6	86	33.5	62	
28年12月期第2四半期	952	28.6	131	65.2	130	64.4	113	

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 65百万円 ( %) 28年12月期第2四半期 138百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	39.46	
28年12月期第2四半期	71.05	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	5,961	1,788	29.1
28年12月期	5,874	1,746	28.8

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 1,732百万円 28年12月期 1,693百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		15.00	15.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,093	12.2	175	21.3	173	22.1	92		56.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	1,641,100 株	28年12月期	1,641,100 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	47,500 株	28年12月期	47,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	1,593,600 株	28年12月期2Q	1,592,051 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財務状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで記載する予定です。

・平成29年8月31日（木）・・・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国政権の政策動向や世界的な地政学的リスクの高まり等の懸念により、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の属する決済市場においては、商取引全体に占める電子商取引の割合（EC化率）は年々増加していることから、それに伴うクレジットカード決済額も増加傾向にあり、また、物販以外のサービスや公共料金・税金などの公金、医療等の生活に密着した分野など、EC以外の領域における決済のオンライン化も進んでいることから、オンライン決済市場は今後ますます拡大していくことが想定されております。

なかでも、スマートフォンの普及に伴い、スマートフォンやタブレットを組み合わせることで、クレジットカード決済端末として利用可能となるスマホ決済サービスが普及しつつある状況で、オンライン決済市場の規模拡大だけでなく、さまざまなタイプの新サービスが誕生しており、新規参入事業者も増えてきており競争が激化してきている状況です。

このような状況の下、当社グループは、クイック入金サービスや公共料金支払代行サービスなど既存サービスの新規顧客獲得と並行して、スマホマルチ決済や飲料自動販売機向け電子マネー対応シンクライアント型決済端末など新サービスの開発についても積極的に取り組んでおり、先月より当社開発のスマートフォン決済アプリ「PayB」のサービス提供を開始し、株式会社百五銀行をはじめとして株式会社ゆうちょ銀行、株式会社みずほ銀行などの各金融機関や、コンビニ収納サービス会社の地銀ネットワークサービス株式会社、株式会社電算システムなどとの業務提携を通して、今後も引き続き、順次利用できる銀行口座や支払いができる各種のサービスを増やしていく予定です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高933,202千円（前年同四半期売上高952,759千円）、営業利益87,063千円（前年同四半期営業利益131,107千円）、経常利益86,508千円（前年同四半期経常利益130,150千円）、親会社株主に帰属する四半期利益62,889千円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失113,121千円）となっております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,961,637千円（前連結会計年度末5,874,611千円）となり87,026千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少184,766千円、商品139,759千円、仕掛品64,023千円、ソフトウェアの取得による41,238千円の増加などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は4,173,421千円（前連結会計年度末4,127,701千円）となり45,720千円増加いたしました。その主な要因は、預り金の増加96,850千円、未払法人税等の減少55,942千円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,788,215千円（前連結会計年度末1,746,910千円）となり41,305千円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益62,889千円を計上したこと及び剰余金の配当23,904千円などによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前第2四半期連結会計期間末と比較して487,386千円減少し、残高は4,742,384千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は100,220千円（前第2四半期連結累計期間は185,373千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益86,508千円及びのれんの償却額11,065千円などによる資金増加要因を、たな卸資産の増加額203,782千円及び法人税等の支払額64,154千円による資金減少要因が上回ったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は46,026千円（前第2四半期連結累計期間は27,611千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出45,789千円などの資金減少要因によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は38,520千円（前第2四半期連結累計期間は58,813千円の収入）となりました。これは主に、資金減少要因である長期借入金の返済による支出15,000千円、配当金の支払額23,520千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当年度前半において、新サービスの開発費用や組織体制強化のための人員増によるコストが先行したことにより、前年同期と比較して営業利益、経常利益については大きく下回っておりますが、クイック入金サービスをはじめとした既存サービスについては順調に推移しており、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。したがって、通期の業績につきましても、現時点では、平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,077,150	4,892,384
売掛金	146,778	150,902
商品	-	139,759
仕掛品	2,783	66,806
その他	274,036	306,628
流動資産合計	5,500,749	5,556,481
固定資産		
有形固定資産	24,901	27,721
無形固定資産		
のれん	199,181	188,115
その他	85,780	127,018
無形固定資産合計	284,961	315,134
投資その他の資産	63,998	62,300
固定資産合計	373,862	405,156
資産合計	5,874,611	5,961,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,533	151,455
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払法人税等	69,316	13,373
預り金	3,663,414	3,760,264
賞与引当金	-	4,838
その他	56,414	30,001
流動負債合計	4,036,678	4,089,933
固定負債		
長期借入金	85,833	70,833
資産除去債務	5,189	5,215
その他	-	7,440
固定負債合計	91,022	83,488
負債合計	4,127,701	4,173,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,237,988	1,237,988
資本剰余金	83,900	83,900
利益剰余金	420,049	459,035
自己株式	△48,720	△48,720
株主資本合計	1,693,217	1,732,203
非支配株主持分	53,692	56,012
純資産合計	1,746,910	1,788,215
負債純資産合計	5,874,611	5,961,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	952,759	933,202
売上原価	615,262	620,653
売上総利益	337,497	312,549
販売費及び一般管理費	206,389	225,486
営業利益	131,107	87,063
営業外収益		
受取利息	826	110
為替差益	-	680
未払配当金除斥益	-	276
その他	149	120
営業外収益合計	975	1,188
営業外費用		
支払利息	1,808	1,711
その他	123	30
営業外費用合計	1,932	1,742
経常利益	130,150	86,508
特別損失		
投資有価証券評価損	201,060	-
特別損失合計	201,060	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△70,909	86,508
法人税、住民税及び事業税	40,325	10,887
法人税等調整額	△334	10,412
法人税等合計	39,990	21,299
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110,899	65,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,221	2,319
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△113,121	62,889

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110,899	65,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,204	-
その他の包括利益合計	△27,204	-
四半期包括利益	△138,104	65,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,325	62,889
非支配株主に係る四半期包括利益	2,221	2,319



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△70,909	86,508
減価償却費	7,327	11,505
のれん償却額	11,065	11,065
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,980	16
投資有価証券評価損益(△は益)	201,060	-
受取利息	△855	△111
支払利息	1,808	1,711
売上債権の増減額(△は増加)	△2,978	△4,124
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,138	△203,782
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,337	31,173
預り金の増減額(△は減少)	△303,193	96,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,935	4,838
その他	△5,294	△70,127
小計	△175,212	△34,475
利息及び配当金の受取額	853	111
利息の支払額	△1,913	△1,701
法人税等の支払額	△9,101	△64,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,373	△100,220
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	△150,000
定期預金の払戻による収入	200,000	150,000
有形固定資産の取得による支出	△1,936	△7,025
無形固定資産の取得による支出	△10,430	△45,789
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△15,724	6,608
関係会社貸付金の回収による収入	180	180
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	300	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,611	△46,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△30,000	△15,000
ストックオプションの行使による収入	12,000	-
配当金の支払額	△23,186	△23,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,813	△38,520
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△154,171	△184,766
現金及び現金同等物の期首残高	5,383,941	4,927,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,229,770	4,742,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

「決済支援事業」以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。